

社会連携機構だより

はじめに

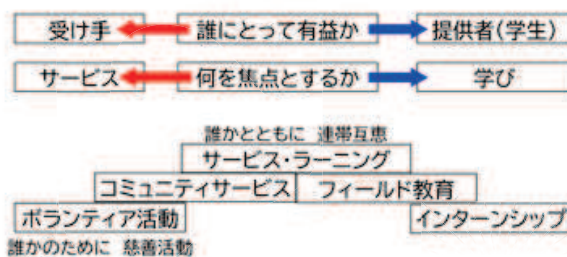
本号では、社会連携機構の2025年度下半期の活動報告と今年度の計画をご報告いたします。「ウェルビーイング共創ハブ」が発足して1年、泉ヶ丘駅コモンズができて未だ半年ですが、学生が主体となった地域イベントの運営や、地元自治体・企業と協力した健康増進プログラムなど、お陰様で多様な地域連携プロジェクトを実施することができました。学生の活動が糸口となって、コモンズで活動する市民サークルも結成され、地域のウェルビーイングを共に創る姿勢が示されたと考えています。また、近隣の他大学や関連学会からも駅コモンズや大学本館でのイベント開催の希望が寄せられるなど、賑わいを見せています。新たに河内長野市さんから協力の申し出も届いております。

今後は、募集の多いボランティア活動を、大学での体系的な教育手法であるサービスラーニングに昇華させ、さらには社会人を対象に学び直しのリカレント講座を本格開講に繋げるなどして、地域と共に歩む本学の特色を強化していきます。

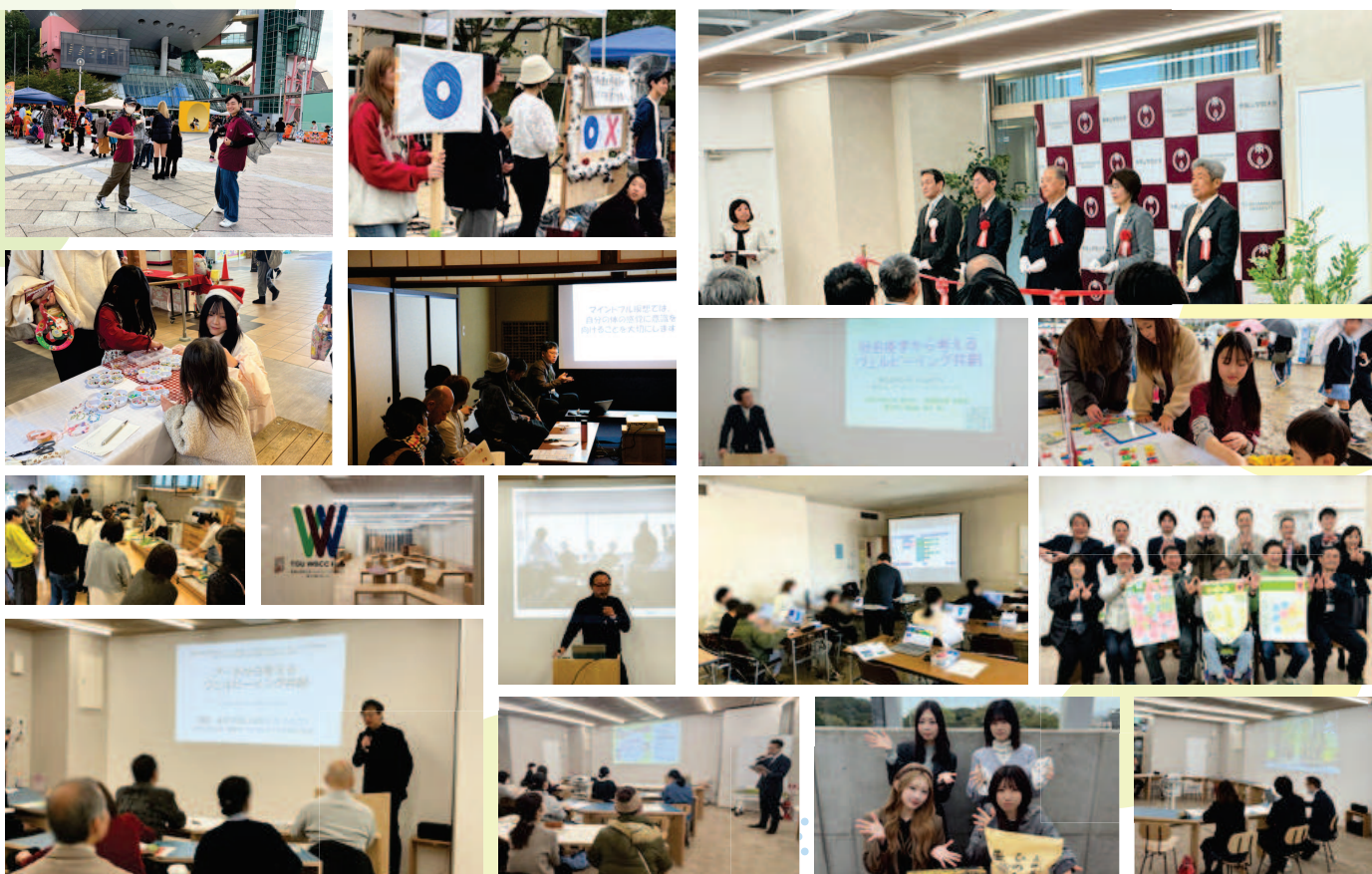
皆様のご協力、お願いいたします。

社会連携機構 機構長 西川 禎一

経験学習5型の差異



山下 美樹 編著『サービス・ラーニングのためのアクティビティ』研究社より改編



社会連携・地域貢献活動

産官学連携 2025年度下半期実施

大阪狭山市

活動報告



「大阪狭山市との協働によるイベントの企画・運営」

カレッジコミュニティⅠ-a、カレッジコミュニティⅡ-aにて実施

2025年10月25日(土)、大阪狭山市東大池公園にて開催された『さやマルシェ』に、カレッジコミュニティⅠ-a、Ⅱ-aの履修学生参加し、多くの来場者と交流した。装飾に加え、「謎解きウォーキング」「紙コップ飛行機」「ステージでの●×クイズ」を学生主体で企画・運営し、実践的な学びを得た。

堺市南区



「堺市南区魅力発信のためのコンテンツ作り」

カレッジコミュニティⅠ-b、
カレッジコミュニティⅡ-bにて実施

堺市南区の魅力を広く発信することを目的に「かるた」を制作した。地域の見どころや歴史、文化、自然環境などを題材として選定し、それぞれの特色を表現した読み札および取り札を作成した。

堺市南保健センター



「堺市南保健センターとの協働による健康増進プロジェクト」

カレッジコミュニティⅠ-c、カレッジコミュニティⅡ-cにて実施



大学生の健康を支援する食事メニューの開発に取り組み、学内食堂において実際に提供した。あわせてレシピを作成・公開することで、自炊など日常生活でも活用可能な形とし、栄養バランスへの関心を高める機会を創出した。

大阪府住宅供給公社 × 社会医療法人生長会



歩いて元気に！日々の健康づくり 「まちかど保健室 “ちゃやあるき”」



2025年12月13日(日)、泉北ニュータウン茶山台団地ウォーキングイベント『ちゃやあるき』を実施した。健康(血圧・脈拍)チェックおよび理学療法士によるウォーミングアップの後、体力に応じた3コースに分かれてウォーキングを行った。参加者が無理なく楽しみながら取り組める内容とし、健康意識の向上と運動習慣の定着を図った。



「泉北de子育て！子どもの育ち応援セミナー」

2026年3月13日(金)、本学ウェルビーイング共創ハブ「泉ヶ丘駅コモンズ」にて、子育て中の養育者を対象としたセミナーを開催した(2019年度以降継続実施)。今年度は「こどもの心身症」をテーマに、本学大学院人間科学研究科 大堀 彰子 教授が講演を行った。また、堺市南区子育て支援課より子育て支援および不登校傾向にある児童への支援に関する情報提供が行われた。あわせて参加者間の意見交換も実施し、こどもの不調への理解と対応について学び合う機会となった。

学生の地域貢献活動 2025年度下半期実施

ハッピーハロウィン in 泉ヶ丘 2025



2025年10月25日(土)、ビッグアイ前の交流広場を起点とする泉ヶ丘駅周辺施設を巡るスタンプラリーイベント(主催:泉ヶ丘ライブタウン会議)が開催された。本学からは学生ボランティアとして本部運営スタッフに参加するとともに、本学マルチスポーツサークルが「紙飛行機とぼし」ブースを出展し、地域住民との交流を図った。

第26回 南区ふれあいまつり



2025年11月9日(日)、西原公園グラウンドにて開催された。本学リベラルアーツ学部 稲川ゼミが参加し、韓国語を専攻する学生による無料韓国語(ハングル)講座のブースを出展した。来場者に対し、気軽に韓国語に触れる機会を提供し、地域交流の促進を図った。

ハッピークリスマスin泉ヶ丘2025



2025年12月6日(土)、泉ヶ丘ひろば専門店街1階「ちびっこ広場」を起点とする泉ヶ丘駅周辺施設を巡るスタンプラリーイベント(主催:泉ヶ丘ライブタウン会議)が開催された。本学総合心理学部 末次ゼミが参加し、ビーズアクセサリ作り体験ブースを出展した。来場者との交流および地域のにぎわい創出に寄与した。

学生ボランティア募集実績（2025年10月～3月募集）

2025/11/15(土)	第22回南地域 ちょっくらわくわくまつり
2025/12/6(土)	堺の森活～森を守って、森で遊ぼう、学ぼう～
2025/12/13(土)	まちかど保健室「ちゃやあるき」
2025/12/14(日)	美（ちゅ）らサウンズコンサート2025in大阪
2025/12/20(土)、12/26(金)、 2026/2/8(日)、3/8(日)	こども食堂「ただいまきっちゃん～胃袋にズキュン♡～」
2025/12/21(日)	こども食堂「坂の上のキッチン」
2025/12/21(日)、2026/3/8(日)	こども食堂「ふぁみちゃん食堂」
2026/2/1(日) ※開催中止	第2回 南区ボランティアフェスティバル
2026/2/11(水)	狭山池ウォーキング 池底ツアー
2026/2/19(木)	福祉の発信を一緒に考えるフクパス
2026/3/13(金)	南区こどもの居場所「りんくる」
2026/3/27(金)～29(日)	石川県能登半島地震 大学生ボランティアバス
2026/4/1(水)～2027/3/31(水)	キッズプラザ大阪 2026年度ミュージアムボランティア
【随時募集】2025/4月～	狭山池博物館
【随時募集】2025/5月～	岸和田市子どもサポートルーム「エスパル」
【随時募集】2025/11月～	子どものための「守口市学生フレンド」
【随時募集】2026/1月～	堺市おやこサークル みはらママ会



生涯学習の活動

2025年度下半期実施

成人大学講座 秋冬開講（於 大阪狭山市立公民館）

以下の日程で開催した。受講者数は延べ132名であった。

【テーマ】生き方を深める心理学

10/25(土)「チームワークの心理学」

秋保 亮太 准教授

11/1 (土)「生涯学び続けることの意味」

川辺 勉 非常勤講師

11/15(土)「陰謀論の心理学」

深尾 憲二郎 教授

11/22(土)「日常生活における“失敗”の心理学」

大本 浩司 教授

11/29(土)「歴史とアートと心理学」

猪股 剛 教授



公開講座フェスタ（於 大阪府立男女共同参画・青少年センター）

11/3(月・祝)から11/20(木)に、特別講演を含む計20講座が開催された。本学からは、以下の日程で食環境学部 西川 禎一 教授が講演し、受講者数は38名であった。

【講座日】2025年11月20日(木)13時15分～14時45分

【講座名】「ウェルビーイング(健康・幸せ)に大事なものは？」



大阪の知の連携×公開講座

大阪・関西の魅力や課題、そして社会的関心の高いテーマをもとに、大阪の各大学等の特色あふれる公開講座を開講する「大阪の知の連携×公開講座」に、本学から以下のテーマで総合心理学部 杉江美子 教授が講演し、受講者数は19名であった。

【講座日】2026年3月7日(土)10時～11時30分

【講座名】推し活は健康につながるか？

— Z世代の新しいソーシャルキャピタルの可能性 —



ウェルビーイング共創ハブの活動

2026年1月 学外拠点『泉ヶ丘駅 commons』開設

開催報告



オープニングセレモニーを開催

2026年1月13日(火)、本学ウェルビーイング共創ハブの学外拠点「泉ヶ丘駅 commons」にて、オープニングセレモニーを開催した。本学学長 西川 隆蔵 教授より、本拠点が地域のウェルビーイング向上に向けた学びと共創の場であること、大学・自治体・企業・地域の連携による新たな価値創出への期待が示されるとともに、堺市南区長(当時) 中山 真裕美 様、南海電気鉄道株式会社 常務執行役員・まちづくり推進室長 二栢 義典 様、本学理事長 野村 正朗、学長 西川 隆蔵、副学長・社会連携機構長 西川 禎一によるテープカットを行い開設を祝った。



泉北ニュータウン地域の活性化へ向けて連携協定を締結 (南海電気鉄道株式会社×帝塚山学院大学)

あわせて、南海電鉄株式会社と本学が2025年12月に締結した連携協定について報告が行われた。双方より、地域活性化には多様な主体の連携が不可欠であること、また本拠点を核とした交流と共創への期待が示された。



セレモニー終了後には施設見学と交流が行われ、参加者間のつながりを深める機会となった。

本拠点では今後、地域・大学・企業・行政が連携し、交流事業や共創イベント、リカレント教育プログラム等を展開し、地域のウェルビーイング向上に資する取組を推進していく予定である。

※2026年4月1日 南海電鉄株式会社は、株式会社NANKAIに社名変更されました。

学びと共創の拠点『泉ヶ丘駅 commons』

帝塚山学院大学と地域をつなぐ、駅前にひらかれた学びと共創の拠点。

堺・泉北地域に関わるさまざまな人が集い、学び合いながら、新しいつながりや活動を生み出し、地域のウェルビーイングを育てていきます。



【まちに開く空間】

コミュニティマネージャーが常駐し、来場者の交流や活動をサポートします。掲示板では帝塚山学院大学の活動や、泉ヶ丘駅 commons のイベント、地域の情報を紹介しています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



【共創する空間】



【学びの空間(大)】



【学びの空間(小)】

泉ヶ丘駅 commons の3つの目的

1. ウェルビーイングを育む
2. つながりを生む
3. 学びをひらく

commons Commons

誰もがともに使い、
ともに育てていく共有の場

ウェルビーイング Well-being

単なる健康や幸福ではなく、
身体的・精神的・社会的に充実し、
安心して暮らせる状態

オープン記念特別講座を実施

開催報告



本学 ウェルビーイング共創ハブ「泉ヶ丘駅 commons」のオープンを記念して、時代の鍵となる3つの分野の専門家を迎え、“泉ヶ丘駅からはじまる地域のウェルビーイング共創”をテーマに、地域と大学が共に考える講座を実施した。※泉ヶ丘駅 commonsはgrafの家具を取り入れている。

【vol.1】「社会疫学から考えるウェルビーイング共創」

日時：2026年1月13日（火）

講演者：本学 副学長・食環境学部長・社会連携機構長・ウェルビーイング共創ハブ代表
西川 禎一 教授



【vol.2】「デザインから考えるウェルビーイング共創」

日時：2026年2月10日（火）

講演者：graf代表、クリエイティブディレクター、デザイナー、京都芸術大学大学院芸術研究科 芸術環境専攻（修士課程）文化デザイン・芸術教育領域長 服部 滋樹 氏



【vol.3】「アートから考えるウェルビーイング共創」

日時：2026年3月10日（火）

講演者：本学 副学長・リベラルアーツ学部長 永草 次郎 教授



社会共創活動

地域社会の課題解決、ウェルビーイング向上を目指した「社会共創活動」を推進しています。

小中学生のためのmicro:bitを利用したプログラミング教室を開催

開催報告



主催：NPO 法人 学習開発研究所
共催：堺市立桐文化会館、
本学 ウェルビーイング共創ハブ

2026年3月1日（日）、堺市立桐文化会館にて小学校5年生から中学生を対象にプログラミング教室を開催した。micro:bitとロボットカー（micro:Maqueen）を用い、基礎から制御プログラミングまで段階的に学習した。本学 リベラルアーツ学部 喜家村 奨 教授が講師として個々の理解度に応じて指導し、参加者は試行錯誤しながら主体的に取り組んだ。ロボットカーが動いた際には達成感が見られ、意欲向上につながった。今後も地域の子どもたちに向けたIT・ものづくり体験の機会を提供していく。

泉北ニュータウン魅力発信動画コンテスト意見交換会を実施

開催報告



主催：堺市泉北ニューデザイン推進室
共催：本学 ウェルビーイング共創ハブ

2026年3月27日（金）、泉ヶ丘駅 commonsにて、令和7年度泉北ニュータウン魅力発信動画コンテスト受賞者を招き、意見交換会を開催した。受賞作の制作者に加え、堺市泉北ニューデザイン推進室および本学 副学長 西川 禎一 教授、リベラルアーツ学部 佐藤 安 准教授が参加した。受賞作品を視聴した後、制作の工夫や課題、今後の活用方法について意見交換を行い、SNSによる若年層への発信の方向性についても議論した。本学は今後も、地域と連携した魅力発信に取り組んでいく。

ウェルビーイング共創プログラム（リカレント教育）

自身・職場・地域のウェルビーイング向上や地域課題の解決に関心のある社会人を対象にした「リカレント教育（学び直し）」を2026年度に本格開講する予定です。2025年度はプレプログラムとして3つのプログラムを実施しました。

第一弾「茶の湯文化×スイーツ心理学×食イノベーションから考える ウェルビーイングな地域づくり」

[開催報告](#)



2025年11月9日(日)、さかい利晶の杜にて、リカレント教育プレプログラム第一弾を開催し、12名が参加した。冒頭では本学の取組とウェルビーイングの概念を共有した。続く第1部では、茶の湯文化、和菓子、スイーツに関する講義に加え、マインドフルネススイーツを実践。第2部では呈茶、施設見学、座談会を通じて理解を深めた。参加者からは学びやすさや新たな気づきに関する評価が寄せられ、交流も活発に行われた。本プログラムは、地域づくりと学び直しを結びつける有効な取組となった。

第二弾「堺の食の歴史・文化から子育てへ ～堺泉北地域の食材を活かした子育て支援～」

[開催報告](#)



2026年2月22日(日)、泉ヶ丘駅 commons および space. SUEMURAにて、リカレント教育プレプログラム第二弾を開催し、12名が参加した。午前には、ウェルビーイングの講義に続き、大阪および堺・泉北地域の食の歴史や食材について理解を深めた。午後は、地域食材を用いた調理デモンストレーションと試食を行い、調理技術や食材活用を体験的に学んだ。また、「子どもの食事と心の発達」に関する講義と意見交換を通じて、食と子育て、地域の関係性について考察を深めた。本プログラムは、食文化と子育てを結び、地域の養育力向上に資する取組として有効であった。

第三弾「幸せに働くとは」

[開催報告](#)



2026年3月8日(日)、泉ヶ丘駅 commonsにて、リカレント教育プレプログラム第三弾を開催し、11名が参加した。午前には、ウェルビーイングの基礎および共創の意義に関する講義に続き、ワークエンゲージメントや健康経営に関する講義とワークショップを実施し、職場課題の整理と対話を行った。午後は、協働できるチームづくりと心理的安全性について学び、各自の職場への実装を検討した。最終セッションでは学びを振り返りながら共有し、働き方や組織運営への理解を深化させた。本プログラムは、働き方と組織の質向上に資する実践的な学びの機会となった。

ウェルビーイング共創プロジェクト（2026年度実施）

堺・泉北地域を中心に、地域の課題解決や人々のウェルビーイング向上に資する教育・研究活動を「ウェルビーイング共創プロジェクト」として支援しています。

<p>リベラルアーツ学科 喜家村 奨 教授</p>	<p>こどもIT・プログラミングラボ</p> <p>泉ヶ丘駅コモンズを拠点に、micro:bitを活用したプログラミング教室や工作型IT体験講座を実施する。世代を超えた学び合いを通じて、地域における教育的ウェルビーイングの向上を目指す。</p>
<p>リベラルアーツ学科 佐藤 安 准教授</p>	<p>泉北 VOICE DESIGN プロジェクト</p> <p>既存のアンケート調査に加え、必要に応じて新たな意見集約の方法も取り入れながら、市民の声を素材として、リサーチ、意見の集約、構造化、可視化を行い、地域や施設が抱える困りごとや可能性を明らかにすることを目的とする。</p>
<p>リベラルアーツ学科 佐藤 安 准教授</p>	<p>泉北動画ラボプロジェクト</p> <p>動画制作そのものを目的とするのではなく、動画を媒介として地域の出来事や想いを共有し、対話を生み出す学びの場を形成することを通じて、地域のウェルビーイング向上に寄与することを本プロジェクトの目的とする。</p>
<p>総合心理学科 大本 浩司 教授</p>	<p>スイーツ心理学®プロジェクト(第二弾)</p> <p>本プロジェクトの目的は、スイーツ心理学®の知見や手法を駆使し、幸せの輪を広げることにある。具体的には、総合心理学科の学生と教職員が連携して菓子を通じた地域の魅力発信と活性化に貢献する。</p>
<p>総合心理学科 広瀬 隆 教授</p>	<p>話動食プロジェクト</p> <p>堺泉北地域の住民に対する心と体の健康への寄与およびその活動を支える大学生の教育支援を目的とする。</p>
<p>食イノベーション学科 池田 高紀 専任講師</p>	<p>泉北レモン由来野生酵母と糞菌の植物性チーズで醸す！ 泉北・堺地域に対するシビックプライドの醸成</p> <p>学生の卒業研究・卒業演習やプロジェクト活動の一環として、野生酵母や植物性チーズを用いた商品の開発を行う。泉北・堺地域の名物となるような商品の開発を目指す。</p>
<p>食イノベーション学科 阪口 宗 教授</p>	<p>泉北ニュータウン活性化プロジェクト</p> <p>食を通じて、心豊かで・健康で・社会と共に幸福を感じられる街づくりを各連携・共創先と展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①space. SUEMURA(大蓮公園)、ももポート(泉北桃山台)でのメニューの提供 ②space. SUEMURA、ももポート他での健康・食生活チェック ③泉北レモンや堺市産の野菜等地産地消の推進 ④地域の企業・団体と連動した健康食材の提供、及びその食材の効用についての講演の実施 ⑤地域の高校と連動した廃棄野菜を使ったメニュー開発

【照会先】

帝塚山学院大学 社会連携機構事務室

TEL : 072-247-4567 Email : osoc@tezuka-gu.ac.jp